

(6) 食料自給率向上対策

事業名 フードアクション備中プログラム

<概要>

食料自給率向上45%運動を県民運動として推進するため、管内の農林水産業団体や消費者団体、商工・流通・観光団体、教育・行政機関等131団体で構成する「備中地域食料自給率向上対策会議（会長 備中県民局長）」が中心となり、食料自給率の長期的な低下傾向について学び、生産力の強化による食料の安定供給の確保と食料自給率向上の必要性について普及啓発を図るとともに、地産地消や米の消費拡大など食料自給率向上に向けた様々な取組を展開する。

また、市町等構成団体各々が主体的に食料自給率向上に取り組む活動を支援する。

<実施計画>

1 食料自給率向上啓発備中流アクション

- (1) ホームページ（フードアクション備中）、地域メディア等を活用した啓発協働推進室が管轄しているラジオ（RSKいきいき備中ホット情報、FMくらしき）等）、倉敷駅西ビルのSKY-TV、市町・農協広報誌等を活用し啓発する。
- (2) 食料自給率向上対策会議活動の促進
構成団体の主体的な活動への支援と面的広がりに向けた連携強化を図る。
- (3) 米、米粉・米粉製品の普及・利用推進
米、米粉推進市町（モデル地区）を募集し、学校給食及び調理実習での米粉レシピの採用や米・米粉食育講座を実施する。
生活交流グループ等において米粉料理講習会を開催し米粉PRの促進を図る。

2 備中地域食材の産地と街を結ぶアクション

- (1) 直売所の活性化支援
直売所の新たな魅力づくり、活性化に向けて商品ディスプレイや表示法、またリスクを分析し、より魅力ある店舗に育てるスキルアップセミナーを開催する。
- (2) 生産者とレストラン等が繋がるための流通システムモデル事例の実施
備中産農林水産物を広くアピールするため、産地見学バスツアーの開催、生産者とシェフ等との連携を図るための情報交換等を実施しながら食材PRを行う。
- (3) 食農推進パートナーがすすめる「食農ハッピープロジェクト」の実施
ビビッと食農！プロフェッショナルチーム7名を核とする食農推進パートナーが生産者や商工業者等と連携し、食や農の大切さについて消費者に啓発する各種講座を開催するとともに、特産品づくりの支援を行う。
- (4) アンテナショップや都市圏でのイベントを利用した効率的なPRの展開
協働推進室と連携し関西圏で開催されるイベント（全国ふるさと観光物産展等）を活用したPRを行う。
- (5) 各地域の特色を生かした地産地消フェアの開催
倉敷・井笠・高梁・新見において各団体が特徴的な地産地消フェアとなるよう取組みを支援する。

フードアクション備中プログラム

1 食料自給率向上啓発備中流アクション

- ホームページ（フードアクション備中）や地域のメディアを活用した啓発



- 食料自給率向上対策会議活動の促進（出前講座等による普及啓発）



- 各々が主体的に取り組む食料自給率向上活動の支援



- 米粉・米粉製品の普及、利用推進



2 備中地域食材の産地と街を結ぶアクション

- 直売所の活性化支援
- 生産者とレストラン等のニーズをきめ細かに結びつけるための流通モデル事例の育成
- 食農推進パートナーがすすめる「食農ハッピープロジェクト」
- アンテナショップや都市圏でのイベントを活用した情報発信
- 各地域での特色を生かした地産地消費フェアの開催
- 農商工連携の取組推進

生産者・食材への理解が深



事業効果

- ◎ 食料の安定供給・食料自給率の向上の必要性を理解
- ◎ 主体的に取り組む組織への支援により、協働範囲の拡大と内容の充実が図られる
- ◎ レストラン等での需要の拡大により、地域経済の持続的発展と商品開発意欲の醸成が図られる

食料自給率のアップ